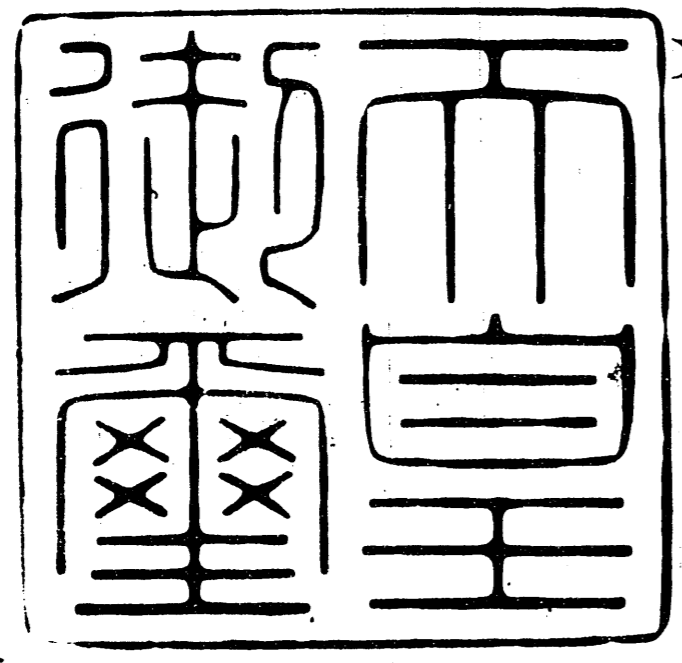


勅令第五百二十六號

朕農地調整法施行令ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十三年七月二十八日

昭

内閣總理大臣 齋藤 實
 司法大臣 小幡 虎次郎
 農林大臣 齋藤 實
 内務大臣 齋藤 實
 大藏大臣 齋藤 實
 近衛文相 齋藤 實
 鹽野季彦 齋藤 實
 有馬頼寧 齋藤 實
 末次信正 齋藤 實
 池田成彬 齋藤 實

勅令第五百二十六號

農地調整法施行令

第一條 農地調整法第四條ノ事業ヲ行フ團體ハ道府縣及市町村ノ外産業組合及農事實行組合トス

第二條 農地調整法第四條ノ自作農創設維持ノ事業トハ同條ノ團體ガ命令ノ定ムル所ニ依リ行フ左ノ事業ヲ謂フ

- 一 個人ノ自作地ト爲スベキ土地ノ購入ニ必要ナル資金ヲ貸付ケ自作地ノ創設ヲ爲スコト
- 二 個人ノ自作地トシテ土地ヲ購入シタルニ因リ生ジタル債務ノ借替ニ必要ナル資金ヲ貸付ケ自作地ノ維持ヲ爲スコト
- 三 個人ノ自作地ト爲ス爲ノ未墾地ノ購入若ハ開墾ニ必要ナル資

金ヲ貸付ケ又ハ其ノ開墾ニ對シ助成ヲ爲シ自作地ノ創設ヲ爲スコト

四 自作地ト爲スベキ土地ヲ購入シ、自作地ト爲ス爲未墾地ヲ購入シテ開發シ又ハ自作地ト爲ス爲其ノ所有スル未墾地ヲ開發シ之ヲ資金ノ貸付又ハ代金割賦支拂ノ方法ニ依リ讓渡シ自作地ノ創設ヲ爲スコト

五 其ノ所有スル土地ヲ代金割賦支拂ノ方法ニ依リ讓渡シ自作地ノ創設ヲ爲スコト

第三條 農地調整法第六條ノ自作農創設維持ノ事業トハ道府縣、市町村、産業組合又ハ農事實行組合ガ直接又ハ間接ニ政府ノ資金ノ融通又ハ補助若ハ助成ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ行フ前條第一

號乃至第四號ノ事業及同法第四條第二項ノ規定ニ依リ土地又ハ其ノ使用收益ノ權利ヲ取得シテ行フ前條ノ事業ヲ謂フ

第四條 農地調整法第六條ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル自作地ノ所有者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ同條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要セズ

一 自作地ノ創設又ハ維持セラレタル年ヨリ起算シ三十年ヲ經過シ且其ノ創設又ハ維持ノ爲生ジタル事業者ニ對スル債務ノ辨濟ヲ完了シタル後ニ於テ其ノ自作地ノ讓渡若ハ貸付ヲ爲シ又ハ之ニ付物權ヲ設定スルトキ

二 自作地ノ創設又ハ維持ノ爲生ジタル事業者ニ對スル債務ノ爲其ノ自作地ニ付抵當權ヲ設定スルトキ

印
附

- 三 自己若ハ家族ノ兵役又ハ徵用ニ因リ自ラ耕作スルコト能ハザル場合ニ於テ事業者ノ承認ヲ得テ其ノ自作地ノ讓渡ヲ爲ストキ
- 四 自己若ハ家族ノ兵役、徵用若ハ疾病又ハ牛馬ノ徵發其ノ他特別ノ事由ニ因リ自ラ耕作スルコト能ハザル場合ニ於テ事業者ノ承認ヲ得テ其ノ自作地ヲ一時貸付クルトキ
- 第五條 市町村農地委員會ノ設置及廢止ハ地方長官市町村長ノ意見ヲ徵シ之ヲ定ム
- 第六條 市町村農地委員會ハ左ニ掲グル事項ヲ處理スルモノトス
 - 一 農地調整法第三條ノ事業ニ關スル調査審議及斡旋
 - 二 農地調整法第四條ノ事業ニ關スル調査審議及斡旋
 - 三 農地調整法第六條ノ自作農創設維持ノ事業ニ關スル調査審議

及斡旋

- 四 農地調整法第五條又ハ第九條第三項ノ通知ヲ受ケタル場合ニ於ケル斡旋
- 五 小作關係、相隣關係其ノ他農地ノ利用關係ニ關スル斡旋及爭議ノ防止
- 六 農地調整法第十四條ノ規定ニ依ル裁判所ニ對スル意見ノ申出
- 七 農地ノ交換分合ノ斡旋其ノ他農地事情ノ改善ニ關スル事項
- 八 前各號ニ掲グルモノノ外農地關係ノ調整ニ關シ地方長官ノ命ズル事項
- 第七條 市町村農地委員會ハ當該市町村ノ区域内ニ存スル農地ニ關スル事項ヲ處理スルモノトス但シ耕作者又ハ農地ノ所有者ノ爲必

要アル場合ニ於テハ他ノ市町村ノ区域内ニ存スル農地ニ關スル事項ヲ處理スルコトヲ得

市町村農地委員會其ノ處理スベキ事項ガ二以上ノ市町村ニ關係ヲ有シ之ヲ處理スルコト困難又ハ不適當ト認ムルトキハ道府縣農地委員會ニ對シ當該事項ノ處理ヲ申出ヅルコトヲ得

第八條 市町村農地委員會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第九條 市町村農地委員會ノ委員ハ八人以内トス但シ特別ノ事由アルトキハ地方長官ハ其ノ定數ヲ増加スルコトヲ得

特別ノ事項ヲ處理スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第十條 市町村農地委員會ノ會長、委員及臨時委員ハ地方長官之ヲ選任シ又ハ解任ス

會長ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外市町村長ヲ之ニ選任スルモノトス

第十一條 市町村農地委員會ノ會長、委員及臨時委員ハ名譽職トス會長及委員ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アルトキハ任期中ト雖モ之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ

補缺選任其ノ他ノ事由ニ因リ他ノ委員ト選任ノ時ヲ異ニスル委員ノ任期ハ他ノ委員ノ殘任期間トス
會長ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任ノ會長就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フ

第十二條 市町村農地委員會ノ會長、委員又ハ臨時委員ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ズ

第十三條 市町村農地委員會ノ會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ地方長官ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第十四條 市町村農地委員會必要アリト認ムルトキハ重要ナル事項ヲ除クノ外會長ノ指名スル委員又ハ臨時委員ヲシテ其ノ事務ノ處理ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十五條 市町村農地委員會又ハ前條ノ規定ニ依リ事務ノ處理ヲ擔任スル委員若ハ臨時委員ハ事務ノ處理ノ爲必要アリト認ムルトキハ期日及場所ヲ定メ當事者ヲ呼出シ又ハ利害關係人ノ參加ヲ求ムルコトヲ得

第十六條 前條ノ場合ニ於テハ當事者又ハ利害關係人ハ自身出頭スルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ市町村農地委員會

又ハ第十四條ノ規定ニ依リ事務ノ處理ヲ擔任スル委員若ハ臨時委員ノ承認ヲ受ケ代理人ヲシテ出頭セシメ又ハ輔佐人ヲ同伴スルコトヲ得

市町村農地委員會又ハ第十四條ノ規定ニ依リ事務ノ處理ヲ擔任スル委員若ハ臨時委員ハ何時ニテモ前項ノ承認ヲ取消スコトヲ得

第十七條 市町村農地委員會ニ關スル費用ハ市町村ノ負擔トス

第十八條 市町村農地委員會ノ事務ノ處理ニ關シ當事者ノ申出ニ因リ特別ノ行爲ヲ爲シタル爲要シタル費用ニ付市町村長ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ其ノ實費ヲ徴スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ費用ヲ豫納セシムルコトヲ得

第十九條 前條第一項ノ規定ニ依リ徴收シタル費用ハ市町村ノ收入

トス

第二十條 北海道廳又ハ府縣ノ小作官又ハ自作農創設維持其ノ他農地ニ關スル事務ニ從事スル官吏若ハ待遇官吏ハ市町村農地委員會ノ會議ニ出席シ且意見ヲ述ブルコトヲ得

第二十一條 道府縣ニ道府縣農地委員會ヲ置ク

第二十二條 道府縣農地委員會ハ左ニ掲グル事項ヲ處理スルモノトス

- 一 農地調整法第四條ノ事業ニ關スル調査審議及斡旋
- 二 農地調整法第六條ノ自作農創設維持ノ事業ニ關スル調査審議及斡旋
- 三 小作關係其ノ他農地ノ利用關係ニ關スル斡旋及爭議ノ防止

四 農地調整法第十四條ノ規定ニ依ル裁判所ニ對スル意見ノ申出

五 第七條第二項ノ規定ニ依リ申出アリタル事項

六 前各號ニ掲グルモノノ外農地事情ノ改善ニ關スル事項及農地

關係ノ調整ニ關シ農林大臣ノ命ズル事項

第二十三條 道府縣農地委員會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十四條 道府縣農地委員會ノ會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ

第二十五條 道府縣農地委員會ノ委員ハ十五人以内トス

特別ノ事項ヲ處理スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第二十六條 道府縣農地委員會ノ委員及臨時委員ハ農林大臣之ヲ選任シ又ハ解任ス

第二十七條 第十一條乃至第十六條ノ規定ハ道府縣農地委員會ニ之

ヲ準用ス

第二十八條 道府縣農地委員會ニ關スル費用ハ道府縣ノ負擔トス
第二十九條 道府縣農地委員會ノ事務ノ處理ニ關シ當事者ノ申出ニ
因リ特別ノ行爲ヲ爲シタル爲要シタル費用ニ付地方長官ハ其ノ實
費ヲ徵スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ費用ヲ豫納セシムルコトヲ得

第三十條 前條第一項ノ規定ニ依リ徵收シタル費用ハ道府縣ノ收入
トス

第三十一條 市町村農地委員會及道府縣農地委員會ハ農林大臣及地
方長官ノ監督ニ屬ス

第三十二條 農林大臣又ハ地方長官ハ市町村農地委員會又ハ道府縣

農地委員會ニ對シ監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十三條 本令中町村又ハ町村長トアルハ町村制ヲ施行セザル地
ニ在リテハ之ニ準ズルモノトス

附 則

第三十四條 本令ハ農地調整法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十五條 農地調整法第十九條ノ自作農創設維持ノ事業トハ道府
縣、市町村、産業組合又ハ農事實行組合ガ自作農創設維持補助規
則若ハ自作農創設維持補助助成規則ニ依ル補助若ハ助成ニ依リ又
ハ其ノ補助若ハ助成ニ依ルモノト左ニ掲グル事項ニ付同一ノ條件
ヲ以テ道府縣ノ施設ニ依リ行ヒタル自作農創設維持ノ事業ヲ謂フ
一 創設又ハ維持セララル自作地ノ所有者ノ資格

内
閣

- 二 創設又ハ維持セラルル土地ノ單價及總價額ノ制限
 - 三 自作ヲ繼續スベキ年限
 - 四 讓渡又ハ抵當權設定ノ制限
 - 五 創設又ハ維持セラルル自作地ノ所有者ガ前各號ノ事項ニ違反シタル場合ノ處置
- 第四條ノ規定ハ前項ノ自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル自作地ノ所有者ニ之ヲ準用ス